

平成20年度  
市民活動支援事業

成果報告書



霧島市

## はじめに

少子高齢化や社会状況の変化に伴って、市民のニーズや暮らしの問題も多様化しており、厳しい財政状況の中、これらの問題を行政だけで担うのは、量的にも質的にも困難な状況にあります。

このようなことから、これからは行政だけでなく、地域のさまざまな団体やグループがともに協力し、支え合って、公共を担っていく仕組みが必要となってきました。

霧島市内では、さまざまな市民グループが、地域の課題の解決やよりよい市民生活の実現のために、自主的・自立的に活動を行っています。

市では、市民活動を促進し、共生・協働のまちづくりを推進するため、こうした市民グループが行う公益的(公共的)な活動に対して、その経費の一部を補助する制度を平成20年度に創設しました。

初年度となる平成20年度は、19団体20事業の応募がありました。地域社会における必要性(課題解決性)、公益性、先駆性・創造性等の審査基準に基づいて、学識経験者、市民活動関係者、公募委員等で構成する「霧島市市民活動促進委員会」による審査(一次審査:書類審査、二次審査:プレゼンテーション審査)を行い、11団体11事業を採択し、補助を行いました。

この、成果報告書は、その11団体の事業の活動内容や成果等を取りまとめたものです。保健・医療・福祉、まちづくり、環境保全、子どもの健全育成など多岐にわたる意欲的な事業は、霧島市の市民活動の幅の広さを感じさせます。この支援事業を契機に、一層市民活動が活発になり、「共生・協働のまちづくり」が霧島市に根付いていくことが期待されます。

# 目 次

## 平成20年度霧島市市民活動支援事業 実施団体成果報告

1	特定非営利活動法人 霧島食育研究会	1
2	特定非営利活動法人 Maria	3
3	きりしま・国分子ども劇場	5
4	大隅横川駅保存活用実行委員会	7
5	ふるさと霧島夏祭り実行委員会	9
6	特定非営利活動法人 霧島サンバイオ	11
7	新現役の会 霧島支部	13
8	ウィメンズ隼人	15
9	ふっぎやまぼっけもん会	17
10	特定非営利活動法人 ワークスコープ 国分支部	19
11	日赤アマチュア無線奉仕団牧園班	21

## 参 考

・ 平成20年度 霧島市市民活動支援事業募集要項(抜粋)	23
・ 平成20年度 霧島市市民活動支援事業応募・採択内訳	24
・ 平成20年度 霧島市市民活動支援事業 実施結果	25

## 霧島「おいしい一汁二菜」食育事業

< 特定非営利活動法人 霧島食育研究会 >

事業費：759,391 円

市補助金：500,000 円

### 目 的 ( 背景・課題 )

日本には食べ物があふれ、大人でも子どもでも、いつでもどこでもどんなものでも、お金さえあれば手に入れることができ、流通と農業技術の進歩により野菜や果物の旬は薄れ、また海外からの食品の輸入拡大で食糧自給率も低下の一途を辿っています。また、食卓には調理の簡単なインスタント食品や出来合いの惣菜が並ぶようになり、社会全体として「食育」の重要性が叫ばれています。

このような状況を踏まえ、早急に一人ひとりが現在の食生活をかえりみ、生活の質を高め、望ましい食生活を営む力をつける必要があります。そのために、適切な食品を選び、調理するための知識・技術の習得、「食事が楽しい!」と感じることのできる環境づくり、旬の食べ物の味の違いや、素材の特徴、だしの風味がわかる味の教育、食品の生産から消費までの社会の仕組みや環境問題の中で、「人が食べて生きていく」という意味を知る教育など豊かな食体験とそれを促す教育が必要です。

本研究会のこれまでの地域に根ざした食育推進活動で得たノウハウを活用し、「一汁二菜」という日本の伝統的な食事形態を活用し、小・中学生及び成人を対象に、霧島の食材を利用した「一汁二菜料理教室」、「食育ミニ講座」を実施し、「霧島食育読本」を作成し、配布することで、きめ細かな食育体験活動の提供と家庭への食育及び地域ぐるみの食育活動の啓発を図ります。

### 事 業 内 容

#### 霧島「おいしい一汁二菜」食育教室の開催

平成 20 年 7 月 6 日(日) 10:00~13:00

場所：国分公民館

参加者：12 名(幼児 3・小中 6・成人 3)

内容：初秋の霧島の食材を使った料理教室  
食育講座「はしの使い方」など

平成 20 年 9 月 16 日(火) 10:30~13:00

場所：霧島保健福祉センター

参加者：12 名(成人)

内容：初秋の霧島の食材を使った料理教室  
食育講座「メタボリックシンドローム」等

平成 20 年 10 月 15 日(水) 10:30~13:00

場所：霧島保健福祉センター

参加者：15 名(成人)

内容：秋の霧島の食材を使った料理教室  
食育講座「日本の自給率」等

平成 20 年 12 月 15 日(月) 10:00~14:00

場所：霧島保健福祉センター

参加者：18 名(小 9・成人 9)

内容：冬の霧島の食材を使った料理教室  
食育講座「食生活チェック」

平成 20 年 12 月 19 日(金) 9:10~13:00

場所：霧島保健福祉センター

参加者：22 名(成人)

内容：冬の霧島の食材を使った料理教室  
食育講座「食事バランスガイド」



(一汁二菜食育教室)

#### 霧島食育読本の作成および無料配布・販売

平成 20 年 7 月より、11 ヶ月の間、霧島食育読本「おいしい一汁二菜」を作成し、2,000 冊印刷しました。

平成 21 年 1 月、霧島市教育委員会を通し、霧島

市内の全小学6年生および学校長・栄養職員・養護教諭、計1,400名に無料配布しました。平成20年1月から2月にかけて、市民および県民対象に600冊販売しました。



(霧島食育読本)

## 事業の成果

### 【食育教室】

- 1 食育教室を5回開催し、79名の参加者がありました。霧島の季節ごとの野菜等を使い、調理することで、身近な食材の利用法や「地産地消」、「身土不二」への理解が深まりました。
- 2 一汁二菜の食事法を学ぶことで自分の食生活を振り返り、何をどれだけ食べればいいのかを理解できました。
- 3 調理の基礎技術(だしのとり方・切り方)が習得できました。

### 【食育読本】

霧島市全小学6年生に無料配布することで、広く霧島の郷土料理・食文化・先人の知恵などを見直し、地域に根ざした食育を伝えることができました。また、販売分は、南日本新聞に取り上げられたこともあり、掲載日および翌日で600冊が完売しました。

再販売を望む声も多くありました。市内はもとより東京の鹿児島県人会、また市内の中学校家庭科教員から2年生230人全員に配布したいと注文もありました。

霧島の豊かな食文化を守り引き継いでいくことへ、多くの人々が大きな興味を持っていることが明らかになりました。

## 自己評価

1. 事業効果  
期待していた以上の効果が上がった。
2. 改善すべき課題  
なかった。
3. 予算執行  
ほぼ予定どおり執行できた。
4. 今後の展望  
今後も、霧島の「人・物・情報」を基にした、霧島独自の食育活動を展開し、食から霧島の良さを再評価する地域づくりに取り組んでいきたい。

## 団体情報

**団体名** 特定非営利活動法人  
霧島食育研究会

**代表者** 理事長 千葉 しのぶ

**設立日** 平成17年9月15日

**会員数** 15人

### 主な活動内容

- ・「霧島・食の文化祭」(年1回開催)
- ・霧島の子どもと大人のための食育プログラム
- ・「霧島食べ物伝承塾」の開催
- ・「霧島・畑んがっこ」子ども組・大人組
- ・大人のための食育セミナー
- ・棚田食育士養成食育実践講座開講
- ・南日本新聞「鹿児島食育レシピ」掲載

### 連絡先

所在地 〒899-4201

霧島市霧島田口 2608-5

TEL 0995-57-1360(FAX 兼用)

E-mail [shinobuharry@yahoo.co.jp](mailto:shinobuharry@yahoo.co.jp)

# 子どもふれあいショップ事業

## < 特定非営利活動法人 Maria >

事業費：669,516円

市補助金：440,000円

### 目的（背景・課題）

最近の子どもたちは外で遊ぶことをしなくなり、またその機会も減っている。子どもたちに、畑で野菜の収穫体験を通して、農業の大切さ、食べ物を大切に作る心を育てたい。また、収穫物を店頭で販売体験することで、労働の対価としてお金が得られることを学んでもらう。

### 事業内容

#### 子どもふれあいショップ

平成20年11月1日(土)～2日(日)

- (1日目：霧島町の農園)
- ・畑で作られている野菜について学習
  - ・収穫体験（2時間）
  - ・収穫した野菜の商品化（ラッピング）
  - ・値札の決定
  - ・「ふれあいショップ」ポスター・看板製作
- (2日目：隼人国分サティ)
- ・「ふれあいショップ」開催準備
  - ・開催式
  - ・商品化した野菜の販売
  - ・完売後終了
  - ・売上計算
  - ・参加者へ給料手渡し
  - ・片付け
  - ・閉会式



（野菜の収穫体験）



（販売体験）

### 事業の成果

一般募集した小学生の参加者は、野菜の収穫や販売体験を通して、学年も学校も違う子どもたちが共に汗を流し、食物の育ち方・大切さを知ることによって予想以上の意欲を見せてくれました。自分で苦労して収穫した野菜を商品化して販売すること

で、「食物の大切さ」と「働く大変さ」を子どもたちに知ってほしいという本来の目的は、子どもたち自身の責任感を持って成し遂げられました。

参加者や保護者からは、「いい経験をさせてもらった」「また参加したい」と嬉しい声が聞こえてきました。



(募集チラシ)



(テキスト)

### 自己評価

#### 1. 事業効果

期待していた以上の効果が上がった。

#### 2. 改善すべき課題

事業計画どおりに実施できるよう、役員同士の信頼関係の強化に加え、早期に参加者の募集を行い、様々な変更に対応できるよう時間的余裕を持っておくようにする。

#### 3. 予算執行

大きな変更を余儀なくされた。

実施段階で役員同士の意見が合致せず、イベント実施目前になって実施日やイベント内容等について変更があったため。(当初の事業名の変更あり)

#### 4. 今後の展望

今年行った野菜の収穫体験・販売体験に加え、野菜作りの原点の一つである「種まき」体験を取り入れることによる1年通してのイベントを行うことで、食物を作る大変さや大切さを子どもも大人も一緒になって体験できるようにしたい。



(平成 20 年 11 月 14 日 新聞記事)

### 団体情報

**団体名** 特定非営利活動法人 Maria

**代表者** 理事長 柿元 雅章

**設立日** 平成 19 年 5 月 2 日

**会員数** 10 人

#### 主な活動内容

- ・ 障害児の保育所活動
- ・ 夜間保育所活動

#### 連絡先

所在地 〒899-4322

霧島市国分中央 3 丁目 17-15

TEL 0995-55-6500

FAX 0995-55-6600

E-mail maria-group@po3.synapse.ne.jp

子どもに関わる大人のための  
コミュニケーションワークショップ事業  
＜きりしま・国分子ども劇場＞

事業費：395,331円  
市補助金：263,000円

目的（背景・課題）

連日のように子どもたちにまつわる様々な不幸な事件が起きていますが、その背景として子どもたちの「コミュニケーション能力」の低下の問題が大きな要因の一つになっています。そして、それは子どもたちだけの問題ではなく、子どもたちに接する大人、子どもたちを指導する立場にある大人のコミュニケーション能力の低下も大きな問題です。

本事業では、演劇的表現を利用したワークショップにより、子どもたちに向き合う大人のコミュニケーション能力向上を図り、そのことを通じて子どもたちを含めた地域住民の円滑なコミュニケーションづくりを目的とします。

事業内容

子どもに関わる大人のためのコミュニケーションワークショップの開催

“子どもに関わる大人”という視点で、地域の母親・父親・教師・保育士など幅広い方々を対象に、インプロ(即興演劇)のトレーニング手法を用いたゲーム形式での大人のコミュニケーション能力の向上を図るもの。

平成20年8月22日(金)

場所：サン・あもり

参加者：20名(託児5名)

平成20年9月12日(金)

場所：隼人体育館

参加者：22名(託児1名)

平成20年10月24日(金)

場所：国分地区共同利用施設

参加者：23名(託児3名)



(募集チラシ)

事業の成果

コミュニケーションワークショップの存在を知ってもらおうとともに、楽しさやコミュニケーションの大切さに関心を持ってもらうことができました。

講座生自身のコミュニケーション能力の振り返りと知り合いを誘うことにより、集団での理解につながり、集団の変化につながることを期待させられました。また、集団独自でこの講座を持つことができるかどうか尋ねられるなど、広がりが期待されます。



## 自己評価

### 1. 事業効果

期待した効果が上がった。

### 2. 改善すべき課題

- ・ 講座時期と時間をより丁寧に考える。
- ・ 広報の方法を市の広報など利用し、もっと多くの人に知らせる。

### 3. 予算執行

多少の変更があった。

- ・ 参加者が予定より少なかった。
- ・ 連携可能団体が予定以下であった。
- ・ チラシの手渡しで郵送代を節約した。

### 4. 今後の展望

いろいろな地域で講座を開催し、(旧1市6町を視野に入れた)地域で人材育成に繋がっていけるようにする。最終段階では連座制によるグループは発表へと繋げたい。



(コミュニケーションワークショップ)

## 団体情報

**団体名** きりしま・国分子ども劇場

**代表者** 大迫 美穂子

**設立日** 平成 19年 6月 24日

**会員数** 53人

### 主な活動内容

- ・ 鹿児島県子ども芸術祭典
- ・ あそび会等

### 連絡先

所在地 〒899-6603

霧島市牧園町高千穂 3930-7

TEL 0995-64-4115 (FAX 兼用)

## 大隅横川駅活性化事業

< 大隅横川駅保存活用実行委員会 >

事業費：370,783円

市補助金：240,000円

### 目的（背景・課題）

昭和20年7月30日、大隅横川駅に停車していた貨車を米軍機が襲撃。その際の機銃掃射の爪跡が駅舎の柱等に現存している。駅保存活用実行委員会が昨年、何とかして地域住民の手で駅舎を守り、活性化の拠点、平和の発信地としていこうという機運が高まり、平和コンサートをはじめ、各種イベントを実施していくことにしました。

現在、土日、祝祭日は観光目的で駅舎を訪れる人が300人を越える。その来場者がウォーキングマップ片手に駅を中心に散策できるようなコースを提供します。

### 事業内容

#### 平和コンサートの実施

日時：平成20年7月30日(水)

第二次大戦時の機銃掃射の弾痕がある大隅横川駅を活性化の拠点、平和の発信地となるように第2回目の平和コンサートを開催しました。5月より、アーティストと音響、照明を依頼するみやまコンセールと打合せを行い、駅実行委員会会議でコンサートの詳細を決定していきました。また、コンサートのポスター、チラシを作成し、開催1ヶ月前より市内外の駅、施設等に貼付、配布するなど宣伝活動を行った。平和コンサートでは、蒸気機関車の主動輪の除幕式にはじまり、横川小金管バンドの演奏、合唱、地元小中学生による平和に関するメッセージ文の発表、平和の尊さを伝える物語「まっ黒なおべんとう」の朗読、そしてメインに霧島国際音楽祭に出演中のアーティストによる演奏（チェロ・ピアノ）をお届けし、幕を閉じました。

約500名が来場し、竹灯籠を周囲に置き、幻想

的な雰囲気の中で催すイベントに好評を得ました。



（平和コンサート）

#### ウォーキングマップ作成

横川小学校の児童が6月から12月にかけて、大隅横川駅を中心とするウォーキングマップを作成しました。史跡、文化財等を撮影し、マップの要所に入れ込み、また専門家からレイアウトの指導を受け完成させました。マップは、2千部作成し、来場者が駅周辺及び町内を散策できるように常時駅舎内に配置しました。



（ウォーキングマップ）

## 事業の成果

### 平和コンサートの実施

明治 36 年開設の九州で一番古い国の登録有形文化財の駅舎でコンサートを開催することにより、平和の発信地として位置付けられ、また観光スポットとして来場者の増に繋がりました。今回招聘した日本を代表するチェロリストの山本祐ノ介氏も古い駅舎や山ヶ野金山等の文化遺産を絶賛。この地でイベントを行い、周知させていきたい意向でした。

### ウォーキングマップ作成

マップ作成により、来場者に散策コースを提供でき、また歴史・文化を体感させることに繋がりました。駅舎周辺の散策はもとより、山ヶ野金山、大出水、丸岡公園などの情報も取り入れ、来場者が有効に利用できるマップに仕上がりました。

## 自己評価

1. 事業効果  
期待した効果が上がった。
2. 改善すべき課題  
単なる夜の平和コンサートだけでなく、昼間を利用し、町内の史跡・文化財等（山ヶ野金山等）のウォーキングを絡めたイベントにすればとの声も多数あり、今後の検討課題としたい。
3. 予算執行  
ほぼ予定どおり執行できた。
4. 今後の展望  
実行委員会の取り組みにより、大隅横川駅も観光スポットとして、かなり脚光を浴びてきた。平和コンサート等のイベントを継続し、さらに何かの催しと抱き合わせ実施し、来訪者増に繋がりたい。
5. その他  
最近では、平日平均 150～170 名程度、土日祝日で 300 名前後の来訪者があり、多いときは 400 名を超える。実行委員会の継続した各種取組が形となって表れてきたのではと考える。



(平成 21 年 4 月 15 日 新聞記事)

## 団体情報

**団体名** 大隅横川駅保存活用実行委員会  
**代表者** 愛甲 信雄  
**設立日** 平成 19 年 6 月 27 日  
**会員数** 278 人  
**主な活動内容**

- ・平和コンサート
- ・日比野克彦ワークショップ
- ・KKB ふるさと CM 撮影(第 3 位優秀賞受賞)
- ・横川秋市開催
- ・肥薩線の鉄道スケッチ展開催
- ・駅舎ライトアップ工事
- ・ジャンボ門松作製
- ・菜の花、桜植栽
- ・特急はやとの風 5 分間停車実現
- ・駅舎成人式挙行

**連絡先**

所在地 〒899-6303  
霧島市横川町中ノ 263 番地  
霧島市役所横川総合支所地域振興課  
TEL 0995-72-0511  
FAX 0995-72-9366

## きりしま検定クイズ テキスト本作成事業

### <ふるさと霧島夏祭り実行委員会>

事業費：959,867円

市補助金：500,000円

#### 目的（背景・課題）

霧島市には豊かな自然や産業、多くの歴史、観光名所や文化があるが、まだまだ市民がその財産を知らないことが多い。そこで、霧島市が誕生して3年、今一度ふるさとの豊かさを再発見できるような、霧島の魅力が詰まったテキスト本を作成します。

そんな魅力を子どもたちにも分かりやすく、興味深く取り組みやすいように検定クイズ方式にして、事前に配布し青少年へのふるさと学習の教材となるように工夫し、夏祭り当日はそのクイズを実施し、郷土愛を育む手立てとします。

また、この冊子は、観光客への詳細なガイド本としての機能を持つとともに、観光従事者のテキスト本としての活用も視野に入れ、作成するものです。



（きりしま知得本）



（霧島検定クイズ風景）

#### 事業内容

- 7月 編集委員会(企画部会)の開催  
原稿作成・校正等  
霧島検定クイズ「知得本」納品(1,000冊)  
学校等へ配布  
各事業所や店舗等で販売開始
- 8月 検定クイズの実施(ふるさと夏祭り 2008  
にて) 検定クイズに約2千人参加
- 9月 編集委員会(企画部会)の開催  
評価会
- 10月 編集委員会(企画部会)の開催  
事業完了について

#### 事業の成果

- ・ 霧島市の魅力を詰め込んだテキスト本が発行された。
- ・ 青少年へのふるさと学習の教材として活用できた。
- ・ 霧島市の一体感を醸成することができた。
- ・ 霧島の魅力を再発見できた。
- ・ 来訪者やUターン者へのふるさと紹介テキストになった。
- ・ 観光従事者のテキスト本として活用できた。
- ・ 作成するプロセスが実行委員のふるさと学習の機会になった。

## 自己評価

### 1. 事業効果

期待していた以上の効果が上がった。

### 2. 改善すべき課題

今年は、作成1年目であり、原稿の校正等が十分でなく訂正表を作成する箇所があった。印刷冊数を1,000冊にしたが反響がよく全て配布、販売した。

### 3. 予算執行

多少の変更があった。

- ・ 審査会での指摘を受けて、クイズ賞品を補助対象事業から外した。
- ・ 当初は取材先からのFAXなどによる回答を想定していたが、取材先からの主体的な回答が少なく、編集委員による訪問聞き取り取材が多く、旅費、事務委託といった想定していなかった支出が必要となった。

### 4. 今後の展望

- ・ 次年度は、審査会でもご指導を頂いたような地域にこだわった検定クイズ賞品を考慮したい。
- ・ 本にアンケートを入れているので、読まれた方のご要望や今回載せられなかったさらなる霧島の魅力について調査研究していきたい。

### 5. その他

- ・ 地域の方々から、「こんな本の発行を待っていた。」という感想が多く聞かれた。
- ・ 取材先の方々から、「合併していいことは少ないと思っていたが、ふるさとに誇りを持ち霧島の魅力を再認識し情報発信していこうとする若者がいることに勇気付けられた。」というような声が多く寄せられた。
- ・ 今回初版を発刊したので、次年度からは早期の準備作業が可能になった。



(きりしま知得本)

## 団体情報

**団体名** ふるさと霧島夏祭り実行委員会

**代表者** 中馬 るみ

**設立日** 平成18年4月1日(規則制定)

昭和50年から青年団・商工会青年部で夏祭りの実行委員会は組織

**会員数** 48人

### 主な活動内容

昨年度の夏祭りでは、検定クイズをはじめて実施。約1,000人が参加した。検定クイズのテキスト本の作成の要望が市民から多く出された。

昨年度の夏祭りのメイキングDVDが日本青年団協議会主催の全国青年団教宣活動ビデオ部門で最優秀賞を獲得

### 連絡先

**所在地** 〒899-4201

霧島市霧島大窪 393

霧島市商工会霧島支部

TEL 0995-57-0121

FAX 0995-57-0167

## 霧島自然再生プロジェクト

< 特定非営利活動法人 霧島サンバイオ >

事業費：529,096 円

市補助金：352,000 円

### 目的（背景・課題）

霧島山系の自然形態がシカの増頭により、天然記念物のノカイドウをはじめとした自然林や若芽をエサにするようになり、山林の再生に支障を来している。このことは、環霧島会議でも課題のひとつとして協議がなされています。

そこで、自然保護とシカの適正頭数のあり方や、今後の活用方法について、地域住民と共に学習会を重ね、市民に向けてフォーラムを開催し、自然環境保全の意識啓発を図ります。

### 事業内容

霧島山系の自然保護・保全の現状や課題、シカの適正管理のあり方、シカ肉の活用方法について、地域住民と共に学習会を重ねてきた結果、その対策として、自然林を再生すること、シカの適正管理・活用という二つの取り組むべき方向性が明確になりました。

そこで、今年度は自然林再生に向けた「霧島ふるさと命の森をつくる会」の組織を立ち上げ、森づくりの権威である宮脇 昭先生を招き、講演会や植林体験教室を開催し、持続可能な自然環境保全の意識啓発に取り組みました。シカの適正管理・活用については、次年度に継続して組織化を図り具体化していきます。



(シカの自然林への食害調査)

### 経過

- ・7/23 定例学習会  
「霧島山系森林生態系の現状と課題」について  
霧島山系生態系(現場からの報告・問題提起)  
グループ討議・全体会議
- ・9/26 定例学習会  
現地視察(ノカイドウ自生地周辺のシカによる自然林の被害状況)  
検討会(グループ・全体会)  
協議(霧島ふるさと命の森をつくる会の設立に向けて)
- ・10/15・10/21・12/1・12/4 霧島ふるさと命の森をつくる会設立に向けての準備会議
- ・12/8 霧島市長に会の趣旨・経緯・方向性を報告
- ・12/24 霧島自然生態系の現地調査、植林予定地の現地調査
- ・12/25 宮脇昭先生との確認(3/26 講演会開催)
- ・1/9 都城市のどんぐり 1000 年の森をつくる会の調査研究
- ・1/13・1/20・1/28 霧島ふるさと命の森をつくる会設立準備委員会
- ・2/4 霧島ふるさと命の森をつくる会設立総会  
記念講演(どんぐり 1000 年の森をつくる会)
- ・2/17・3/7・3/20 霧島ふるさと命の森をつくる会役員会
- ・2/21 食と緑・水を守る鹿児島県民の会植林体験学習に参加(牧園町大霧地区)
- ・3/15 どんぐり 1000 年の森をつくる会植林会参加(都城市山田町)
- ・3/26 宮脇昭講演会・宮脇方式植林体験教室  
講演会 場所:国分シビックセンター多目的ホール  
参加者:350人  
植林体験教室 場所:市役所前  
参加者:150人

## 事業の成果

- ・霧島の自然を愛する地域住民の意識の啓発ができた。
- ・霧島山系の自然が保全される契機となった。
- ・霧島山とシカの問題から、地球規模の環境問題について学習を深めることができた。
- ・地域住民の地域づくりへの組織作りとやる気作りができた。
- ・環境問題と観光振興、自然保護、農業被害などを取りまとめて解決する糸口が見えた。
- ・環霧島会議の活性化に寄与することができた。



(霧島ふるさと命の森をつくる会設立総会)



宮脇先生による植林指導（市役所前）

## 自己評価

1. 事業効果  
期待していた以上の効果が上がった。
2. 改善すべき課題  
今回、学習会や協議をするなかで、霧島山系の自然を再生していくために二つのアプローチが明確になった。当初はシカの適正調整と駆除によるシカ肉の利活用の道筋を計画していたが、人工林から自然林への再生も同時に図る必要が明確になり、今年度は自然林再生のプロジェクトを先に組織化し、次年度にシカの適正調整、シカ肉利活用の別組織を立ち上げることとした。
3. 予算執行  
ほぼ予定どおり執行できた。
4. 今後の展望
  - ・ 自然林再生に向けた活動は「霧島ふるさと命の森をつくる会」を設立したので、主体的な活動を支援していく。
  - ・ シカの適正調整とシカ肉利活用に向けては、21年度に新しい組織化をはかり具体的に進めていく。
5. その他  
NPO法人として、その使命である地域貢献に対し、霧島ふるさと命の森をつくる会の地域主導の組織化が図れたことはすばらしい成果であったと認識している。

## 団体情報

**団体名** 特定非営利活動法人

霧島サンバイオ

**代表者** 理事長 大坪 徹

**設立日** 平成 19 年 12 月 14 日

**会員数** 40 人

**主な活動内容**

- ・ バイオマスの利活用等に関する事業
- ・ 地域産業振興等に関する事業

**連絡先**

所在地 〒899-6404

霧島市溝辺町麓 391-5

TEL 0995-58-2206

FAX 0995-58-3086

# 新現役の会エコプロジェクト

## <新現役の会 霧島支部>

事業費：625,413円  
市補助金：377,000円

### 目的（背景・課題）

20世紀の急激な経済発展は私たちの生活に便利で快適な住環境をもたらしましたが、大量消費・大量廃棄の生き方は地球に与える負荷が大きく、次世代を生きる子どもたちの未来を奪いかねません。そこで、石油で高温焼却処分している生ごみを分別収集することにより、ごみの削減、温暖化対策、有限資源である石油利用の削減につなげる。

また、分別収集した生ごみを堆肥として再生させ、高齢化で放棄された畑を借り、野菜を製作、循環型社会を目指します。

### 事業内容

- 8/28 新現役の会エコプロジェクト講演会  
「生ゴミは宝」(PM6:00～・40名参加)  
場所：国分総合福祉センター  
講師：佐賀大学教授 染谷孝  
はちがめプラン理事長 福田俊明
- 9/17 市環境衛生課との意見交換
- 10/10 新現役の会エコプロジェクト勉強会  
(おじゃんせ事務所・15名参加・PM6:30～)  
講師：染谷教授・福田理事長
- 10/15 垂水市へ生ゴミ回収先進地視察
- 11/11 市環境衛生課と生ゴミ回収意見交換  
(市7名・新現役の会4名・地域役員7名)
- 11/25 中道自治会生ゴミ回収説明会(PM6:30～)

- 12/8 垂水市視察  
(地域役員8名・新現役の会4名)
- 12/14 新現役の会エコプロジェクト講演会  
「生ゴミ宝」(PM6:00～・45名参加)  
場所：宮内公民館  
講師：染谷教授・福田理事長
- 1/20 市環境衛生課と生ゴミ回収意見交換  
(市2名・新現役の会3名)
- 2/8 NPO法人設立勉強会  
(おじゃんせ事務所・16名参加)
- 2/9 新現役の会エコプロジェクト講演会  
「生ゴミは宝」 食の循環  
場所：宮内小学校体育館  
参加者：4年生全員・保護者  
講師：染谷教授・福田理事長  
(MBCズバット鹿児島で放映)
- 2/12 中道地区住民説明会(PM7:00～)



(エコプロジェクト講演会)



## 事業の成果

エコプロジェクト講演会は、「生ゴミは宝」や勉強会を実施したことにより、中道地区の自治会が賛同の手を上げてもらったことで、霧島市の生ゴミ回収への取り組みが大きく前進しました。



(生ゴミ堆肥実験)

## 自己評価

### 1. 事業効果

期待していた以上の効果が上がった。

### 2. 改善すべき課題

- ・ 会員同士のコミュニケーションの徹底。
- ・ 畑が広すぎたために、生ゴミの堆肥化と畑を同時に進行するのは大変だった。

### 3. 予算執行

ほぼ予定どおり執行できた。

### 4. 今後の展望

宮内地区において生ゴミ回収に市の予算がつき、今後更に啓蒙活動が必要になる。

### 5. その他

市民活動支援事業を受けたことにより、中道地区の住民が勉強会を重ねることにより、自分たちの問題として、自分たちで解決する姿勢が出てきたように思う。

これが、官民の共生・協働ではないだろうか。

## 団体情報

**団体名** 新現役の会 霧島支部

**代表者** 東郷 球雄

**設立日** 平成 18 年 3 月

**会員数** 17 人

### 主な活動内容

定年を迎えた団塊世代の方々に、仲間づくりと情報交換の場を提供し、経済的自立と地域貢献を促進する。

(親睦会・ホームパーティ・花植え・志學館大学の教員・学生との交流)

### 連絡先

所在地 〒899-4321

霧島市国分広瀬 2-13-20

TEL 0995-47-1757 (FAX 兼用)

# 初午祭造形うま祭り

## <ウイメンズ隼人>

事業費：234,900円

市補助金：156,000円

### 目的（背景・課題）

地域共同体が崩壊してしまっている今日、様々な問題や事件が発生しています。地域や学校で顔見知りを増やし、人と人を繋ぐ地域連帯を回復する一端になればと企画しました。

本事業では、初午祭の主役である馬を、手づくりで表現し発表するので、作る過程において老若男女が関わり、ひいては地域のコミュニケーション機能と子どもの健全育成を図り、にぎやかな初午祭の中で作品を発表することで祭りを体感し、思い出づくりにつながることを目的とします。

### 事業内容

平成20年度は霧島市市民活動支援事業補助金の交付を受けての実施となりました。7月の東町造形美術展についての研修に始まり、9月・10月の造形うま造り講座を経て、造形コンテストにこぎつけました。

講座は、子どもたち、親子組、高齢者の方々など参加いただきました。子どもたちのナイフや金槌使いにヒヤヒヤさせられましたが、指導者の適切な助言と指導でどうにか様になり、出来上がった作品に大喜びしました。それを受けてか今年の出展作品は昨年に比べて、完成度の高いものとなりました。

#### 経過

7/31(木) 長島町「東町造形美術展」の研修交流

#### 研修内容

- ・造形美術展に取り組みられた経緯
- ・地域に定着させるための手法
- ・造形美術展で苦労していること、困って

#### いること

- ・造形美術展開催による成果

9/27(土) 第1回造形うま造り講座

場所(時間)：隼人国分サティ(PM1:00~)

講師：田村 勝則(元国鉄四国多度津工場長・鉄道車両設計製作)

参加者：22名

10/19(日) 第2回造形うま造り講座

場所(時間)：サンあもり(PM1:00~)

講師：田村 勝則

参加者：21名

2/15(日) 初午祭造形うま祭り

出展数：7点

(霧島市教育長講評より：アイデアや工夫を凝らしたもの、発想を変えた意表を突いたもの、精密で機能性に富んだものなど目を楽しませる作品が多かった。...)

3/20(金) 機関紙「馬うまシャンシャン」発行



(造形うま造り講座)

## 事業の成果

初午祭当日のうま造りに向けて、一連の講座等を開催することにより、うまの出来映えがよくなりました。そのことにより、道行く人の注目を集めることにつながり、造った人の自信へとつながりました。このことで来年度に向けての意欲を感じられます。参加団体も小学校児童、児童クラブ等が参加することにより、祭りに対する思い入れとつながりました。



(造形うま祭りコンテスト)



## 自己評価

### 1. 事業効果

期待した効果が上がった。

### 2. 改善すべき課題

造形講座の時期と講座の内容を、材料にこだわらずにさまざまな体験をし、創造が広がるようにする。

### 3. 予算執行

多少の変更があった。

- ・ 長島町との交流が1回だけになったこと。
- ・ 事務費を予算立ててなかったが、実際には必要であった。
- ・ 音響設備が時節柄高くなった。

### 4. 今後の展望

初午祭造形うま祭り終了後、今回は“隼人国分サティ・龍馬ウォーク”で展示したが、最初から計画に組み入れ、造形講座の充実を図ることにより、うま造りの手法を拡げたい。

## 団体情報

団体名 ウィメンズ隼人

代表者 中野 ヨシ子

設立日 平成8年8月

会員数 7人

### 主な活動内容

- ・ 初午祭造形うま祭り
- ・ 春の市
- ・ 路上ギャラリー
- ・ 对外活動(まちづくりイベント企画・運営)
- ・ 提言活動
- ・ 文化活動(文化講座・歌声喫茶)

### 連絡先

所在地 〒899-5102

霧島市隼人町真孝 880-12

TEL 0995-42-3381 (FAX 兼用)

## 惣陣ヶ丘の公園化に伴う枕木階段設置事業

<ふっぎやまぼっけもん会>

事業費：767,640円  
市補助金：500,000円

### 目的（背景・課題）

日本一の花文字を活かし、惣陣ヶ丘を公園及び展望所にするため、緩やかな階段をつくり、小児から高齢者まで誰でも登れるようにします。

そのため、枕木の階段を設置して高低差80メートルの遊歩道として、観光客の誘致及び健康増進と市民の憩いの場を提供しながら霧島市をアピールします。

課題としては、県有地と私有地の混在があり、長期借用契約が必要と思われます。



（工事風景）



### 事業内容

日本一の花文字「フクヤマ」がある惣陣ヶ丘に市民及び観光客が気軽に登頂し、素晴らしい景観の霧島市や錦江湾に浮かぶ桜島をみてほしいとの想いで、枕木階段の設置をしました。

事業スケジュールからすると、工事着工に遅れが生じたが、ほぼ予定どおり完了することができました。



（工事前）



（材料：枕木・丸杭）



（完成した枕木階段）

### 事業の成果

この事業により、枕木階段の利用者が若干増加して、花文字への関心とふるさとへの想いが定着してきたように思われる。

今後、惣陣ヶ丘の公園化に伴う計画が施工・整備できれば更に、地域住民の健康増進と観光客の滞在期間の増加があると思われる。

### 自己評価

#### 1. 事業効果

期待した効果が上がった。

#### 2. 改善すべき課題

枕木階段登頂道からの錦江湾の眺めが樹木により断たれ暗い道であった。錦江湾ドライブインのご好意により、部分的に樹木の伐採を行い改善することができた。

今後は、転落防止と上り下りの労力軽減のために手すりをつけたい。

#### 3. 予算執行

ほぼ、予定どおり執行できた。

#### 4. 今後の展望

惣陣ヶ丘の公園化を目指し、来年度は、花文字「フ」側から頂上までの枕木階段の設置と階段登り口の広告宣伝用看板の設置、22年度は頂上の展望所をつくりたい。

#### 5. その他

枕木階段の設置後の維持管理を、当会の会員のみでできるのか。地域住民を巻き込み全体で守り発展させられたら、他の団体等の手本になりえると思う。



(花文字の雪景色)

### 団体情報

**団体名** ふっぎやまぼっけもん会

**代表者** 二木 重成

**設立日** 平成2年4月10日

**会員数** 31人

#### 主な活動内容

- ・惣陣ヶ丘の花文字維持管理
- ・講演会の開催
- ・サークルやよいコンサート
- ・他市民活動団体との交流

#### 連絡先

**所在地** 〒899-4501

霧島市福山町福山 5348

**TEL** 0995-56-2539

市民が協働する子育て支援地域づくり事業  
(協働子育て事業)  
<特定非営利活動法人 ワークスコープ国支部>

事業費：467,480円  
市補助金：311,000円

目的 (背景・課題)

近年、子どもに関わる事件が後を絶ちません。子どもが巻き込まれる事件、誘拐等の悪質な事件に加え、最近では子どもが子どもを殺害する事件や児童虐待殺人など、以前にはあまり見られなかった事件も数多く起こっています。子育て環境や子ども自身が成長する環境で社会が変質してきているのではと感じます。夫婦共働きの増加や離婚による片親での子育ての増加、両親の劣悪な労働環境により子どもが一人である時間の増加など、子どもが安心して成長する環境が著しく減少してきています。

また、核家族化や偏重した個人主義の普及により、親と子どもが家に閉じこもり、子育てが「孤育て」になってしまう事態もあります。

子育てや子どもが育つ家庭の中ではさまざまな人と関わり触れ合うことが必要だと感じています。

霧島市では、大企業の進出などで雇用が増大し、若い世代の人口流入も増加しています。全国的に見ても農村部における地域の関係性の強さと都市部での地域の関係性の弱さは明らかであり、今後霧島市でも国分地区を中心に地域の関係性の弱体化が懸念されるものと考えます。

地方財政が困難な状態にある中で、公共を官に依存するのは限界があり、市民自身の意識改革も必要になりますが、市民と行政が「協働」して新しい公共の仕組みをつくるのが霧島市の子育て環境の向上にとって重要なことだと考えています。

本事業は、市民協働の子育ての仕組みを作ることを目的としています。

仕組みづくりの骨格を、地域の関係性の強化

と子育てへの関わりの促進、母親同士の出会いや仲間づくりの促進、市民協働の子育ての必要性について啓発することとして事業を進めていきます。

事業内容

親子つどいの広場

学童保育をしていない平日の午前中と休日の事業所の有効活用をするため、地域の親(母親)に開放します。22回開催しました。

実施時間 10:00～12:00

- ・9月 20日(土)・25日(木)・27日(土)
- ・10月 7日(火)・18日(土)・23日(木)・31日(金)
- ・11月 4日(火)・15日(土)・20日(木)・28日(金)
- ・12月 13日(土)・17日(水)・25日(木)
- ・1月 6日(火)・17日(土)・24日(土)・29日(木)
- ・2月 3日(火)・14日(土)・18日(水)・28日(土)



親子つどいの広場 育児ストレス解消法

ほのぼのイベント

親の交流を目的とするイベントで、学習型イベントと体験型イベントの2種を開催します。10回開催しました。

開始時間 10:00

- ・ 8/24(日) エコ! 広告チラシで作るストラップ
- ・ 9/27(土) 育児のストレス解消法(講座)
- ・ 10/18(土) 食育教室・パン作り教室
- ・ 10/23(木) アロマ教室
- ・ 11/15(土) マフラー・子どもブーメラン作り
- ・ 12/13(土) 食育教室・郷土料理づくり
- ・ 1/17(土) お正月の昔遊び体験(講座)
- ・ 1/24(土) 子どもの生活力を身につけよう(講座)
- ・ 2/14(土) バレンタインチョコづくり
- ・ 2/21(土) 頑張らない子育て(講座)

親子で楽しく! 食育教室



ブーメラン作り



皆で食事

## 事業の成果

親子つどいの広場・ほのぼのイベントを通じ母親たちの交流も広がり、2つの育児サークルにも参加いただきました。この2つのサークルが「つどいの広場」を利用し、初めての合同活動をするなどサークル間の交流も発展し、その後サークルの開催会場として「ほのぼの」を利用されています。

ほのぼのイベントは、霧島市市民活動支援事業の活動となったため、以前より認知度が高まり参加者も随分増えました。「次年度のイベント企画が決まったら連絡がほしい」等の声もあり、地域の方の共感を得ることができました。

転勤してみえた若い家族(核家族)、夫婦共働きの方、夫婦二人だけでの育児等を心配している方もありましたが、協働子育て事業を地域交流の場として活用してもらい、託児・学童保育(別事業)・子育て支援の取り組み等も知ってもらい、安心して地域で子育てができるようサポートすることができました。

## 自己評価

### 1. 事業効果

期待していた以上の効果が上がった。

### 2. 改善すべき課題

イベントと親子つどいが重なった日は参加が多かったが、親子つどいのみの方は参加者が少なかった。(市内で開催されているひろば型・子育て支援センター等を利用されている様子)

### 3. 予算執行

大きな変更を余儀なくされた。

準備不足や講師の方の都合等で一部のイベントの日程やフォーラムの規模の縮小を余儀なくされた。

### 4. 今後の展望

今までどおりイベントを続け、地域の方が気軽に参加し交流できる場を提供し、安心して地域で子育てできるようサポートしていきたい。

## 団体情報

**団体名** 特定非営利活動法人

ワーカーズコープ(国支部)

**代表者** 岡元 ルミ子

**設立日** 平成13年9月13日

**会員数** 359人

**主な活動内容**

- ・ 子育てイベント開催  
(地域交流・子育て支援)

**連絡先**

所在地 〒899-4301

霧島市国分重久738-1

TEL 0995-47-1093(FAX 兼用)

e-mail honobono@po.mct.ne.jp

## 環霧島アマチュア無線防災対策事業

### < 日赤アマチュア無線奉仕団牧園班 >

事業費：301,605 円

市補助金：200,000 円

#### 目的（背景・課題）

平成 5 年 8 月の鹿児島県を襲った未曾有の大水害において通信が途絶えたことに鑑み、翌年 11 月に日赤アマ無線牧園班を設置し、更に広域活動として、平成 19 年 12 月には環霧島アマ無線連絡協議会を結成した。

今回は、霧島市における環霧島アマ無線防災対策事業として通信機器等の整備を図り、組織の活動として、行政関係の各種イベントにおける無線通信協力、霧島連山による遭難者の捜索、遭難者救助のための無線連携協力、霧島市総合防災訓練など各種防災訓練に参加し、スキルアップを図り、安心安全なまちづくりをサポートしたい。



安定化電源 × 2



無線機(20W) × 2



制服 × 10



制服(拡大)



ヘルメット × 7



発電機

#### 事業内容

霧島市における環霧島アマチュア無線防災対策事業として通信機器等の整備を図り、組織活動として行政の各種イベントにおける無線通信協力、霧島連山等での遭難者の捜索、救助のための無線連携協力、各種防災訓練等への積極的参加をすることにより、スキルアップを図り、安心安全なまちづくりサポートをする体制が整いました。

今回、無線機器の整備、アンテナポールの整備、班員の制服統一化及び安全ヘルメットの整備、基地局設置による発電機の整備を図りました。



移動ポール



アンテナ 3 段 GP



## 事業の成果

補助金交付決定により、ほぼ当初の計画どおり執行ができた。

今後のスケジュールに基づき円滑な運営を図ります。

## 自己評価

1. 事業効果  
期待した効果が上がった。
2. 改善すべき課題  
なかった。
3. 予算執行  
ほぼ予定どおり執行できた。
4. 今後の展望  
特になし

## 団体情報

**団体名** 日赤アマチュア無線奉仕団  
牧園班

**代表者** 黒江 明

**設立日** 平成6年11月1日

**会員数** 10人

### 主な活動内容

- ・霧島市の行政イベントへ参加し、無線通信による活動
- ・防災訓練等への参加
- ・捜索に伴う出動

### 連絡先

所在地 〒899-6507

霧島市牧園町宿窪田 791-1

霧島市牧園老人福祉センター内

TEL 0995-76-2160 (FAX 兼用)

## 平成 20 年度 霧島市市民活動支援事業募集要項(抜粋)

### 1 趣旨

近年、市民ニーズが複雑・多様化している中で、さまざまな市民グループが地域の課題の解決やよりよい市民生活の実現のために、自主的・自立的に活動を行っている。こうした市民グループが行う公益的(公共的)な活動に対して、その経費の一部を補助することにより、市民活動を促進し、共生・協働のまちづくりを進めるために、平成 20 年度から実施

### 2 応募できる団体

ボランティア団体、NPO法人などの市民グループ(法人格の有無は問わない)  
(主たる構成員が市内在住者等で、5人以上の団体。地区自治公民館・自治会は対象外)

### 3 補助対象となる事業

公益的(公共的)なサービスを提供する市民グループの活動  
(これまでの活動を拡充する活動、新たに実施する活動)

### 4 補助額

補助対象経費の3分の2以内で、50万円を限度

### 5 補助の対象となる経費

事業を実施するために直接必要とする経費

### 6 審査・選考方法

書類審査とプレゼンテーション(事業計画発表)による選考審査会を開催し、決定

### 7 審査基準

#### (1) 公益性

事業の効果が、特定の者に限定されず、地域社会にひろく貢献するものであるか。

#### (2) 地域社会における必要性(課題解決性)

地域社会の課題を的確に捉え、また、市民ニーズに対応し、その解決策として有効か。

#### (3) 先駆性・創造性

応募団体の既存事業を発展・拡充するもの又は新たに実施するものであるか。また、迅速性・専門性など特性を活かしたものであるか。

#### (4) 実現性

事業計画や実施体制は、具体的で実現可能なものであるか。

#### (5) 将来性

活動・効果が一過性でなく継続性が期待できるか。また、ひろく波及効果が期待できるか。

### 8 事業スケジュール

平成 20 年 5 月 23 日	募集期限
6 月上旬予定	書類審査(一次審査)
6 月下旬予定	プレゼンテーション審査(二次審査)
6 月下旬予定	選考結果発表
7 月予定～翌年 2 月末	事業実施
平成 21 年 4 月予定	意見交換会

### 9 情報公開

応募状況、選考結果等について、公開

平成 20 年度 霧島市市民活動支援事業 応募・採択内訳

1 選考審査の結果

区 分	応 募	採 択
団 体 数	19 団体	11 団体
N P O 法 人	9 団体	4 団体
その他の団体	10 団体	7 団体
事 業 数	20 事業	11 事業
補 助 希 望 額	8,514,000 円	4,028,000 円

2 分野別内訳

分 野 別	応 募	採 択
保健・医療・福祉	6	2
まちづくり	5	4
学術・文化・芸術・スポーツ	1	0
環境保全	3	2
災害救援	2	1
子どもの健全育成	2	2
消費者保護	1	0
合 計	20	11

平成 20 年度 霧島市市民活動支援事業 実施結果

	分野	団体名	事業名	事業概要	補助額 (円)
1	子どもの健全育成	特定非営利活動法人霧島食育研究会	霧島「おいしい一汁二菜」食育事業	霧島の食材を利用した「一汁二菜料理教室」「食育ミニ講座」を実施し、「霧島食育読本」を作成・配布する。	500,000
2	保健・医療・福祉	特定非営利活動法人 Maria	子どもふれあいショップ事業	子どもたちに農業体験や収穫物の販売体験を通して、食物の大切さや働く大変さを学んでもらう。	440,000
3	子どもの健全育成	きりしま・国分子ども劇場	子どもに関わる大人のためのコミュニケーションワークショップ事業	「子どもに関わる大人」という視点で、インプロ(即興演劇)のトレーニング手法を用い、大人のコミュニケーション能力の向上を図るワークショップを開催する。	263,000
4	まちづくり	大隅横川駅保存活用実行委員会	大隅横川駅活性化事業	国の登録有形文化財である九州最古の木造駅舎大隅横川駅で、平和の発信地として平和コンサートを実施する。また、観光客向けにウォーキングマップを作成する。	240,000
5	まちづくり	ふるさと霧島夏祭り 08 実行委員会	きりしま検定クイズ テキスト本作成事業	ふるさとの豊かさを再発見できるような霧島の魅力が詰まったテキスト本を作成し、夏祭りできりしま検定クイズを実施する。	500,000
6	環境保全	特定非営利活動法人霧島サンバイオ	霧島自然再生プロジェクト	自然保護とシカの適正頭数のあり方や今後の活用方法について、地域住民と共に学習会を重ね、市民向けにフォーラムを開催し、自然環境保全の意識啓発を図る。	352,000
7	環境保全	新現役の会 霧島支部	新現役の会エコプロジェクト	持続可能な社会を目指して、生ごみを使用した堆肥作りの研究と環境問題(地球温暖化)の啓発活動を行う。	377,000
8	まちづくり	ウイメンズ隼人	初午祭造形うま祭り	初午祭の主役である馬を手づくりで表現し、発表することで、人と人を繋ぐ地域連帯を回復させ祭りを盛り上げたい。	156,000
9	まちづくり	ふっぎやまぼっけもん会	惣陣ヶ丘の公園化に伴う枕木階段設置事業	日本一の花文字を活かし、惣陣ヶ丘を公園及び展望所にするため、荒廃した登頂道に枕木階段を設置する。	500,000
10	保健・医療・福祉	特定非営利活動法人ワーカーズコープ 国分支部	市民が協働する子育て支援地域づくり事業(略称:協働子育て事業)	市民協働の子育ての仕組みを作ることを目的に、子育てイベントやつどいの広場の定期開催、市民協働子育てフォーラムを開催する。	311,000
11	災害救援	日赤アマチュア無線奉仕団牧園班	環霧島アマチュア無線防災対策事業	各種イベントの無線連携協力、霧島連山の遭難者捜索・救助の無線連携協力、防災訓練参加など環霧島アマチュア無線連絡協議会の霧島市の組織としてスキルアップを図るため、無線通信機器を整備し、安心安全なまちづくりをサポートする。	200,000
計					3,839,000

**平成20年度  
霧島市市民活動支援事業成果報告書**

平成21年11月

霧島市役所 企画部 共生協働推進課

〒899-4394 霧島市国分中央三丁目45番1号

T E L 0995-64-0988 (直通)

F A X 0995-47-2522

E-mail [kyodo@city-kirishima.jp](mailto:kyodo@city-kirishima.jp)